

認知症カフェ広がる

本人・家族・住民・医師らおしゃべり

福山市内に開設相次ぐ

認知症の人や家族の支援につながると期待されてい「認知症カフェ」が、福山市内でも広がりつつある。10月から始めた「ガーデンカフェ」(新市町)に続き、9日に「オレンジカフェくさど」(草戸町5丁目)もスタートする。

認知症カフェは、認知症の人や家族が集い、地域の人も交えておしゃべりをしたり、医師や看護師ら専門職らに悩みを相談したりすること)で、早期発見や悩み解消などにつなげる取り組み。厚生労働省がまとめた認知症に対する計画「オレンジプラン」でも普及を明記しており、全国各地で開設が広がりつつある。

「ガーデンカフェ」は、

半。スタッフ側は看護師や介護士、作業療法士らが参加する。参加費100円。問い合わせは会場の特別養護老人ホームくさど(084-973-9911)。中司教授は「早期の認知

のの中司登志美教授が呼びかけて、10月11日に、社会福祉法人新市福祉会の「ロードデンテラス」を開場に開かれた。認知症の7人や家族、住民ら計22人が訪れ、医師や看護師、介護福祉士ら14人のスタッフと約2時間で過ごした。

次回は11月22日午後1時。参加費200円。申し込みはジョイトピアしじみ(084-47-51-2226)。「オレンジカフェくさど」は社会福祉法人さんよう理事長で認知症介護指導者の辰川和美さんらが計画し参加を募っている。

(竹久岐史)



ECOと 低価格志向

- 眠っているピアノ
- 不要なピアノは

3時。参加費200円。申し込みはジョイトピアしじみ(084-47-51-2226)。

「オレンジカフェくさど」は社会福祉法人さんよう理事長で認知症介護指導者の辰川和美さんらが計画し参加を募っている。

9日は午後2時~3時